

スポーツ経験が社会人としての活力に与える影響

1190550 森岡 憩

高知工科大学 経済・マネジメント学群

1. 概要

本研究では、企業に対するヒアリング調査とスポーツ経験のある大学生を対象にアンケート調査を行い、スポーツ経験が就職後の社会人としての活動にどのような影響をもたらすのか、そして大学生がそれを意識できているのかを明らかにする。

インタビューの結果、スポーツ経験で身に付けた礼儀や上下関係、忍耐強さは実際に社会に出てからプラスの影響を与えることがわかったが、反対にマイナスの影響を与える点の一つも見つからなかった。インタビュー調査とアンケート調査で企業と学生で大半は認識が一致するが、認識のズレも生じた。このズレを無くすため、企業が学生に「スポーツと社会のつながり」について学ぶ機会を与える必要があると考える。そして社会に出たことのない学生がスポーツの与える影響について認識することで、有意義なスポーツ活動を送れると考える。

2. 背景

スポーツをすることで「忍耐強くなる」「責任感が持てるようになる」「気遣いができる」というようなことを耳にする。

例えば、「中学高校時代における運動部活動経験と年収」に関する先行研究では、運動部活動歴がある人のほうが収入が高いという結果が出ている。しかし大卒従業員ではそのような影響が見られないという事例研究もある。(文献1) また、やる気や協調性などの非認知能力が労働市場における成功に大きく影響していることが実証的に明らかにされている。Heckman, Stixrud and Urzua (2006)

3. 目的

本研究では、企業に対するヒアリング調査とスポーツ経験のある大学生を対象にアンケート調査を行い、スポーツ経験が就職後の社会人としての活動にどのような影響をもたらすのか、そして大学生がそれを意識できているのかを明らかにする。そしてスポーツ経験が就職後にプラスの影響を与えることが明らかになれば、スポーツを推奨でき、練習に対するモチベーション向上にも繋がると考えられる。

4. 研究方法

本研究では、高知トヨタ自動車株式会社様、株式会社南四国スズ

キ様、株式会社フタガミ様、株式会社四国銀行様にインタビューを行う。インタビューの内容は「入社後のスポーツ経験者の現状」と「就職活動において学生に求めること」の二つに分けて行い、スポーツ経験が就職後の社会人としての活動にどのような影響を与えているのか、スポーツ経験者は就職活動で有利なのかを明らかにする。また、運動部に所属した経験のある大学生を対象にアンケート調査を行い、スポーツに対してどのような思いを持って活動しているのかを明らかにする。そしてインタビュー調査で得た結果と、アンケート調査で得た結果を比較し、スポーツ経験が就職後の社会人としての活力に影響するのか、また学生がそれを正しく認識しているか検証する。

5. インタビュー内容

高知県内のスポーツ経験者の社員が多い企業 4 社に、入社後のスポーツ経験者の現状と、就職活動において学生に求めることの二つに分け、以下の 11 問を質問した。

- 1) スポーツ経験者は非経験者に比べて、精神的に強いのか
- 2) スポーツ経験者は打たれ強いのか
- 3) コミュニケーションスキルや責任感などにスポーツ経験が関係しているのか
- 4) スポーツ経験者は協調性があるのか
- 5) スポーツ経験者は職場でのマナーに優れているのか
- 6) スポーツの経験が与えるマイナス面は何か
- 7) 大学時代にスポーツをしていた人の離職率 (3 年以内に退職する人) はどうか
- 8) スポーツ経験の有無によって欠勤数に差があるのか
- 9) スポーツ経験者の役職率はどのくらいか
- 10) 就職活動をする時にスポーツ経験者に何を求めるか
- 11) 社会人に求めるものは何か

6. インタビュー結果

インタビュー結果をまとめると以下のようになった。
(下図)

	トヨタ自動車（株）	南四国スズキ（株）	（株）フタガミ	（株）四国銀行
精神面	強い。	経験の有無で差はない。	経験の有無では無く、しんどい思いをした人が強い。	ハードな練習などを経験している人が強い。
打たれ強さ	強い。	10年以内であれば経験者の方が強い。	意外とそうでもない。怒られた経験の有無による。	ハードな練習などを経験している人が強い。
コミュニケーション・責任感	責任感やキャプテンを経験した人が特に強い。コミュニケーションスキルは高い。	経験の有無で差はない。	経験の有無に関係ない。	コミュニケーション能力は経験者が高く、責任感やキャプテンの経験がある人が強い。
協調性	個人差はあるが、協調性のある人が多い。	経験の有無で差はない。	そうとは言い切れない。	チームプレイが必要な競技をやっていた人はある。
マナー面	経験者の方が身につけている。	最初は経験者の方が優れているが、少し経てば差はなくなる。	部活で教えてもらっている人はできる。	多くはスポーツ経験者の方ができる。
マイナス面	すぐには思いつかないが、強いて言うなら、就活時期が遅れること。	思い浮かばない。	すぐには思いつかない。	ない。経験自体が糧になる。
離職率（3年以内）	会社に3年以内に離職した人はいない。	50%。	離職人数が少ないためわからない。	統計を取ったことがない、退職理由は様々であるからわからない。
欠勤数	スポーツ経験の有無は関係ない。	経験者の方が体調管理ができていと思う。	欠勤自体が少ない。	差はない。
役職率	経験者が50%以上。	50%。	50%以上が経験者。	スポーツ経験者の方が多いと感じたことはない。
就職活動で求めるもの	勝負にこだわる、目標・目的達成、考える力。	長期間勤務すること。	組織の中でマナーが守れる、リーダー経験、怒られた経験があるのか。	スポーツを通して何を得たのか。
社会人として求めるもの	チャレンジ精神	計画達成ができること。	お客様の笑顔を見たいと思うこと。	価値観の違う人とも関わりを持つこと。

まうこと。

6-1. トヨタ自動車様に対するインタビュー結果

インタビュー結果は以下のようになった。

1) スポーツ経験者は非経験者に比べて、精神的に強いのか

比較的経験者の方が強いと思う。精神的に強いことはどの仕事をしていても通用するものだと思う。

2) スポーツ経験者は打たれ強いのか

経験者は強いと思う。会社としてもそういう人を求めている。

3) コミュニケーションスキルや責任感などにスポーツ経験が関係しているのか

責任感については特に部長などをしてきた人が持っている。営業はチームで仕事をやることによって成り立つため、コミュニケーションスキルもスポーツを経験が役に立つと思う。

4) スポーツ経験者は協調性があるのか

個人差はあるが、協調性がある人が多いと思う。

5) スポーツ経験者は職場でのマナーに優れているのか

経験者の方が身に付いている。

6) スポーツの経験が与えるマイナス面は何か

すぐに思いつかないが、強いて言うならば、部活動に専念しているため、就活時期が遅れるということと、過去の栄光にすがってし

7) 大学時代にスポーツをしていた人の離職率（3年以内に退職する人）はどうか

弊社では、スポーツ経験の有無に関わらず、5年以内に離職した人はいない。

8) スポーツ経験の有無によって欠勤数に差があるのか

スポーツ経験の有無に関わらず、体調が悪くても、仕事に来る人が多い。

9) スポーツ経験者の役職率はどのくらいか

スポーツ経験者が役職の半数以上を占めている。

10) 就職活動をする時にスポーツ経験者に何を求めるか

勝負にこだわる、目標・目的達成、考える力、チーム力などを求める。

11) 社会人に求めるものは何か

チャレンジ精神があること。

6-2. 南四国スズキ様に対するインタビュー結果

インタビュー結果は以下のようになった。

1) スポーツ経験者は非経験者に比べて、精神的に強いのか

経験の有無で差はない。

2) スポーツ経験者は打たれ強いのか

仕事の経験歴が10年を超えると差はなくなる。10年以内であればスポーツ経験のある人の方が打たれ強い。

3) コミュニケーションスキルや責任感などにスポーツ経験が関係しているのか

経験の有無によって差はない。

4) スポーツ経験者は協調性があるか

これもあまり経験の有無で関係ない。

5) スポーツ経験者は職場でのマナーに優れているか

最初は経験者のほうができる。しかしすぐに経験のない人もできるようになる。

6) スポーツの経験が与えるマイナス面は何か

マイナス面は思い浮かばない。

7) 大学時代にスポーツをしていた人の離職率(3年以内に退職する人)はどうか

50%。

8) スポーツ経験の有無によって欠勤数に差があるのか

あると思う。体調管理はスポーツ経験者の方ができている。

9) スポーツ経験者の役職率はどのくらいか

50%。

10) 就職活動をする時にスポーツ経験者に何を求めるか

スポーツ経験の有無に関わらず、長く勤務すること。

11) 社会人に求めるものは何か

営業がメインの仕事だから、計画達成ができること。

6-3. フタガミ様へのインタビュー結果

インタビュー結果は以下のようになった。

1) スポーツ経験者は非経験者に比べて、精神的に強いのか

前提として個人差は必ずある。経験の有無ではなく、頑張った経験をした、してないに關係する。

2) スポーツ経験者は打たれ強いのか

意外とそうでもないかもしれない。怒られた経験がある人はいない人に比べて強い。

3) コミュニケーションスキルや責任感などにスポーツ経験が関係しているのか

コミュニケーションについては文化部の人でも身につけて人はいるので、スポーツ経験者だけではない。責任感については団体競技を経験している人が持っていることが多いと思う。

4) スポーツ経験者は協調性があるか

スポーツ経験者がある人でも協調性がない人がいるため、そうとは言えない。

5) スポーツ経験者は職場でのマナーに優れているか

部活や団体できちんと教えてもらっている人はできる。

6) スポーツの経験が与えるマイナス面は何か

すぐには思いつかない。ひょっとしたらスポーツができるから仕事もできると思い込んでいる人がいたらマイナスかもしれない。スポーツ経験のある人は友達が多いことが多く、他社の仕事の事を聞き、比べてしまうことが最近目立つかもしれない。

7) 大学時代にスポーツをしていた人の離職率(3年以内に退職する人)はどうか

離職している人が少ないのでわからない。

8) スポーツ経験の有無によって欠勤数に差があるのか

欠勤数自体が少ない。

9) スポーツ経験者の役職率はどのくらいか

50%以上がスポーツ経験者である気がする。会社の部活動でも、部員の90%が役職に就いている。

10) 就職活動をする時にスポーツ経験者に何を求めるか

怒られた経験があるのか、組織の中でのマナーが守れる、リーダー経験があること。面接ではスポーツ経験のある人は良い印象になるかもしれない。

11) 社会人に求めるものは何か

弊社はお客様と直接関わる仕事なので、お客様の笑顔が見たいと考えるを持つことで、仕事をする。

6-4. 四国銀行様へのインタビュー結果

1) スポーツ経験者は非経験者に比べて、精神的に強いのか

プレッシャーやハードな経験をしている人が強いと思う。スポーツ経験の有無だけではない。

2) スポーツ経験者は打たれ強いのか

これも先ほどの質問と同じで経験の有無だと思う。

3) コミュニケーションスキルや責任感などにスポーツ経験が関係しているのか

スポーツによるが、コミュニケーションについてはスポーツを通して他大学・多世代と関わることが多いこともあり、経験者の方ができると思う。責任感については、キャプテンの経験がある人のほうが強いと感じる。

4) スポーツ経験者は協調性があるか

チームプレーが必要な競技をしていた人は身につけていると思う。

5) スポーツ経験者は職場でのマナーに優れているか

部活内の関係にもよるが、スポーツ経験者の方ができると思う。しかし、部活動経験ない人もできる。

6) スポーツの経験が与えるマイナス面は何か

スポーツ経験がマイナスになることはない。経験していること自体が糧になる。

7) 大学時代にスポーツをしていた人の離職率(3年以内に退職する人)はどうか

統計を取ったことがないので、退職される理由が様々なので、わからない。

8) スポーツ経験の有無によって欠勤数に差があるのか

経験の有無に関わらず休む人はほとんどいない。しかし、スポーツ経験者の方が体力があると感じることはある。

9) スポーツ経験者の役職率はどのくらいか

男性はスポーツ経験している人が多い。女性は経験の有無が様々。スポーツ経験者の方が多いとは感じた事がない。

10) 就職活動をする時にスポーツ経験者に何を求めるか

気になることは、スポーツを通して、何を得たのか。学んだのか。

11) 社会人に求めることは何か

自分が成長していこうと思うと、価値観の違う人とも関わり、色々な角度で物事を見れること。柔軟な考え方、素直さがマナー等よりも大切だと個人的には思う。

7. アンケート調査

学生はどう行った意識を持って、スポーツをしているのか。部活動に所属したことがある大学生63人を対象にアンケート調査を行った。

7-1 アンケート内容

内容は、以下の通りである。

- ①社会に出た時にスポーツの経験が役に立つと思いますか。
- ②スポーツを経験したことによって精神的に強くなったと思いますか。
- ③社会に出て、スポーツ経験が不利に働くことがあると思いますか。(記述式)
- ④スポーツ経験者は就職活動で有利だと思いますか。(記述式)
- ⑤スポーツの経験により就職後の欠勤数はどう変化すると思いますか。理由も述べてください。(記述式)
- ⑥スポーツ経験者は非経験者に比べて出世しやすいと思いますか。

7-2. アンケート結果

まずアンケートに回答した人は下図のように経験年数が3年未満から10年以上と幅広い経験年数となった。(図1)

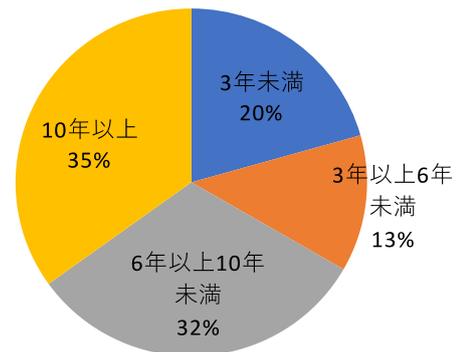


図1 部活動経験年数

①の「社会に出た時にスポーツの経験が役に立つと思いますか」という質問については94%が役に立つと答えた。それとは反対に役に立たないと答えた人は1%だった。この結果からスポーツの経験が役に立つと思ってスポーツをやっているということが分かった。(図2)

また、「役立つ」と答えた人に選択式で理由を問うと、回答数が多かった順に、「礼儀を身に付けることができるから」(79%)、上下関係が学べるから(75.8%)、忍耐力が養われるから(72.6%)となった。それとは反対に「役立たない」と答えた人の理由は、スポーツの世界と社会は別だからという回答だった。

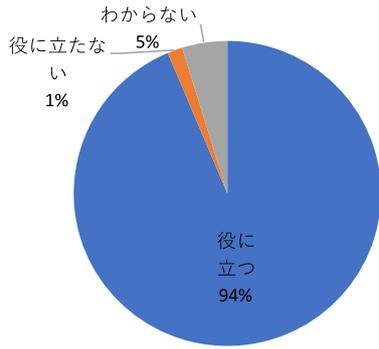


図2 ①社会に出た時にスポーツが役に立つと思いますか

②の「スポーツを経験したことによって精神的に強くなったと思うか」については、「強くそう思う」、「ややそう思う」と答えた人が、84%となり8割以上を占めた。

このことから①の理由でも多くの人が思っていたように、スポーツを通して精神的な部分も鍛えられたと感じている人が多いことがわかる。

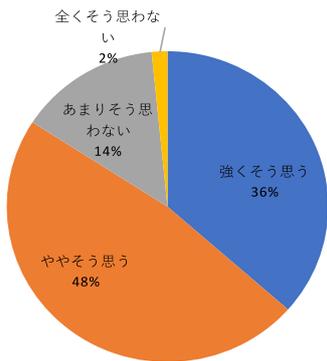
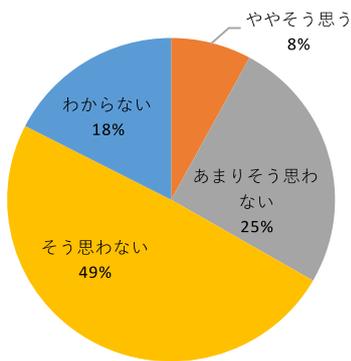


図3 ②スポーツを経験したことによって精神的に強くなったと思いますか

③の「社会に出てスポーツ経験が不利に働くことはあると思うか」について、不利になると答えた人が、全体の8%（図4）で、理由として、頭が悪いと思われる、運動部特有の精神論を押し付けてしまうことが挙げられた。逆にマイナスにはならないと答えた人の理由は90%以上の人が、「無駄だと感じたことが無い、マイナスに働くことは無い」だった。その他の回答としては、話の話題を作りやすい等があった。

図4 ③社会に出て、スポーツ経験が不利になることはあると思いますか



④の「スポーツ経験者は就職活動で有利だと思いますか」では、①でスポーツ経験が役立つと答えた人が、93%だったのに対し、強く思う、ややそう思うと回答した人が65%に減少した。（図5）このことから社会に出た時に役立つと思っているが、就職活動では経験の有無によって差が付くとは思っていないことがわかる。

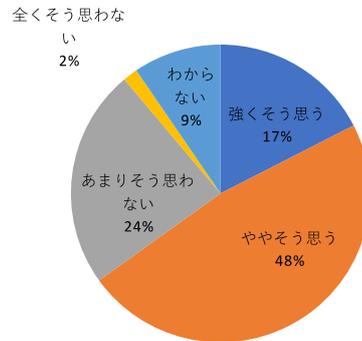


図5 ④スポーツ経験者は就職活動で有利だと思いますか

⑤の「スポーツ経験により、就職後の欠勤数はどう変化と思いますか」では、経験者と非経験者で差はないと答えた人が57%で、欠勤数には経験の有無に差がないと思っている人が多いことがわかる。しかしその中でも、37%の人はスポーツ経験が欠勤数に関係していると思っている。（図6）

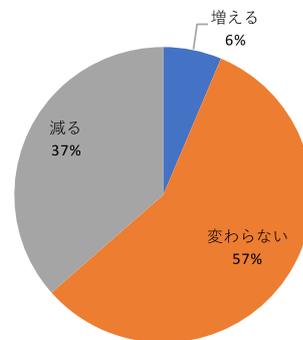


図6 ⑤スポーツ経験により、就職後の欠勤数はどう変化したいと思いますか

⑥の「スポーツ経験者は経験者に比べて出世しやすいか」については、昇進にスポーツ経験は関係ないと思っている人が62%となり、スポーツ経験によりやや出世しにくいと考えた人が、5%いることが分かった。しかし、「出世しにくい」と答えた人は0人だった。（図7）

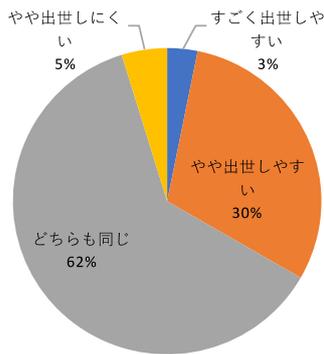


図7 ⑥スポーツ経験者は非経験者に比べて出世しやすいと思うか

8. 考察

インタビュー調査とアンケート調査全体を通して、①の社会に出た時スポーツ経験が役に立つと思うかという質問に対し、93%の人が役に立つと回答している。このことから、学生の大半はスポーツ活動が役に立つと認識していることがわかった。しかし、実際の企業に行ったインタビューでは、4社中2社がスポーツ経験の有無で差はないと答えている。このことからコミュニケーションスキルや責任感、協調性に関しては、企業によって異なるが、学生と企業間に少しの認識のズレが生じていることが言える。また企業にスポーツ経験のマイナス面を質問すると、どの企業も思いつかないという回答だった。学生の中には、スポーツをしている人は勉強ができないと思われる、運動部独特の根性論を押しつけてしまう等という意見があったが、今回インタビューした企業4社では、特にその2点に関しては思っていないようだった。また、就職活動でスポーツ経験のある人に何を求めるのかという質問に対しても、企業側は目標・目的達成やスポーツを通して何を学んだかなど、個人のやり方や考え方を求めているのに対し、学生側のアンケートでは、戦績と答えた人が少数だった。しかしインタビューをした企業4社では、1社も、戦績に触れた企業はなかった。このことからスポーツをしている時は戦績が関係するが、就職となると戦績は必要がないようにも思えた。会社により結果は異なったが、共通して言えることはスポーツ経験がマイナスの影響を与えることは無いということだ。

このように企業と学生で大半は認識が一致するが、認識のズレも生じた。この学生の認識のズレを無くすためには、企業側がOB訪問という形で、高校3年生もしくは大学1年生を対象に「スポーツと社会のつながり」について学ぶ機会を与える必要がある。そして

社会に出たことのない学生が、スポーツの与える影響について正しく認識することで、有意義なスポーツ活動を送ることができるのではないかと思う。

最後に、インタビュー調査の中を通して、精神面に関しては、運動部、文化部を問わず厳しい練習や大きな壁を乗り越えた経験がある人が強いと答えた企業が2社あった。そのため厳しい環境と優しい環境で部活動をしていた人の違いや、継続年数、企業によっても与える影響は変わってくるのがわかった。今回のアンケート調査では、部活動の厳しさについては触れていないが、少なくとも、スポーツ経験はプラスの影響を与えることが多く、例え不利な点があったとしても、それは良い印象が強いため、マイナス面の印象が薄くなってしまうのかもしれない。

9. 結論

インタビュー調査とアンケート調査によって、スポーツ経験で身に付けた礼儀や上下関係、忍耐強さは企業によって結果は異なったが、社会に出てからプラスの影響を与えることが多いことがわかったが、それとは反対にマイナスの影響を与える点の一つも見つからなかった。しかし企業によって、どのような影響を与えるかは様々であり、企業や経験年数、環境にも関係する。インタビュー調査とアンケート調査で企業側と学生側で大半は認識が一致するが、認識のズレも生じていることがわかった。このズレを無くすためには、企業側がOB訪問という形で、高校3年生もしくは大学1年生を対象に「スポーツと社会のつながり」について学ぶ機会を与える必要がある。そして社会に出たことのない学生がスポーツの与える影響について認識することで、有意義なスポーツ活動を送ることができると思う。

10. 謝辞

最後に本研究を進めるにあたり、インタビュー調査にご協力いただいた株式会社四国銀行様、株式会社フタガミ様、株式会社南四国スズキ様、高知トヨタ自動車株式会社様、アンケート調査にご協力いただいた、高知工科大学、大阪商業大学の運動部の方々に深く感謝申し上げます。

参考文献

【1】スポーツ活動と昇進

<https://www.jil.go.jp/institute/zassi/backnumber/2009/06/pdf/062-089.pdf>